

濟生会山口総合病院
 外来医師担当表

2021年12月20日現在
 《受付時間…午前8時30分～11時》※予約の場合を除く

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102	循環器		小 野 史 朗	金 本 将 司	小 野 史 朗	國 近 英 樹
		山 田 倫 生	國 近 英 樹	担 当 医	山 田 倫 生	
		金 本 将 司	赤 川 英 三		赤 川 英 三	
	腎 臓	安 藤 亮太郎	今 井 剛	和 泉 隆 平	今 井 剛	和 泉 隆 平
	膠原病 リウマチ	※完全紹介予約制 久 保 誠		※完全紹介予約制 久 保 誠		※完全紹介予約制 久 保 誠
	糖尿病・ 血 液	藤 田 直 紀	村 木 和 彦		村 木 和 彦 * 非常勤医師（血液）	藤 田 直 紀
		末 富 吏 佐 (午後1時～)		末 富 吏 佐 (午前9時～午後0時)		
	消化器	原 田 稔 也 (消化管)	石 垣 賀 子 (胆 膵)	花 田 浩 浩 (肝 臓)	輪 番 制	日 高 勲 (肝 臓)
	呼吸器	※完全紹介予約制 * 非常勤医師 (午前9時30分～)	※完全紹介予約制 * 非常勤医師 (午後2時～)	※完全紹介予約制 * 非常勤医師 (午後2時～)	※完全紹介予約制 * 非常勤医師 (午後2時～)	※完全紹介予約制 * 非常勤医師 (午後2時～)
		○糖尿病・血液内科 木曜日 村木医師（終日）、非常勤医師（第1・3・5…終日、第2・4…午前8時30分～午前11時） ○消化器内科 木曜日 輪番制（第1 花田医師、第2 原田医師、第3 日高医師、第4 石垣医師、第5 原田医師）				
外科 083-901-6107	1 診	小 林 俊 郎 (心臓血管)	高 橋 剛 剛 (消化器・乳腺)	郷 良 秀 典 (心臓血管・呼吸器)	神 保 充 孝 (呼吸器)	高 橋 剛 剛 (消化器・乳腺)
	2 診	斎 藤 聰 (血管)	上 杉 尚 正 (再診のみ)	大 塚 遼 (心臓血管)		
	【専門外来】○乳腺外来 ※完全予約制 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1 診	城 甲 啓 治	大 場 一 生	時 高 智 志	大 場 一 生	時 高 智 志
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1 診	竹 野 研 二	* 非常勤医師	竹 野 研 二	竹 野 研 二	竹 野 研 二
	○竹野医師 午前9時～ 診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始					
脳神経外科 083-901-6109	1 診	湧 田 幸 雄	北 原 哲 博	※ 完 全 予 約 制 湧 田 幸 雄	小 泉 博 靖	北 原 哲 博
	2 診	小 泉 博 靖				
	○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時 ○2 診 第1月曜日のみ 非常勤医師（※完全予約制）					
整形外科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	三 原 修 三 (肩関節)	岸 本 哲 朗 (脊椎・人工関節) 大 中 博 司 (脊椎・外傷)	※完全紹介予約制 岸 本 哲 朗 (脊椎・人工関節)	大 野 晃 靖 (手の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸 本 哲 朗	大 野 晃 靖	初診・再診 森 重 昌 志 (関節・外傷)	大 中 博 司	三 原 修 三
	○初診 水曜日 第1・3…大中医師、第2・4…岸本医師					
産婦人科 083-901-6122	1 診	古 谷 信 三	* 非常勤医師	古 谷 信 三	古 谷 信 三	古 谷 信 三
眼 科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1 診	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診
皮 膚 科 083-901-6110 ※完全紹介制	1 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診	休 診
小 児 科 083-901-6106	1 診	* 非常勤医師	休 診	休 診	休 診	休 診

医療機関の先生方へ
 * 印は非常勤医師

放 射 線 科	CT・MR・RIは次の電話番号から直接ご予約が可能です。《放射線科の診療は完全予約制です。》 ●C T 予約…083-901-6149 ●M R 予約…083-901-6151 ●R I 予約…083-901-6154 予約受付〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕（※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。）
---------	---

栄 養 科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6177
-------	--

患者サポート センター	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。
地域連携室	予約受付 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時 TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

- 診療開始時間は 午前9時から（曜日等により異なる場合があります）。ただし急患の場合はこの限りではありません。
- 都合により代診・休診とさせていただく場合がありますのでご了承ください。

Life
 No. 160

済生会山口総合病院広報誌
 2022年1月10日発行

済生会山口総合病院
 〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表)
 FAX 083-921-0714

ご自由にお持ち帰りください
 No. 160
 ライフ
 Life

地域医療支援病院／日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 済生会支部
 山口県済生会山口総合病院
 発行：地域連携委員会 広報チーム
 発行責任者：院長 城 甲 啓 治
 〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2022年1月号

新春のご挨拶

済生会山口総合病院

院長 城 甲 啓 治

新年のご挨拶を申し上げます。

去年は、新型コロナ変異株による第5波が猛威をふるいました。しかしワクチンの普及により重症化が抑えられ、また早めの病床準備、調整により山口の医療は大きく逼迫することなく収束しました。ご理解、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。続いて第6波が警戒されるところですが、新治療薬も開発されつつあり、早く面会制限のないコロナ前の診療に戻れることを祈るばかりです。

その中であって、当院は昨年11月11日、創設70周年を迎え、今年は特別の第一歩を

踏み出します。北側に建つ新棟はまもなくベールを脱いでその姿を現します。夏頃には、救急診療の多くがこの棟に移ることになります。また、昭和59年から診療してきた外来も西側の棟に一時移動し、南側の新棟建て替えに備えることになります。

今年は壬寅（みずのえのとら）の年。冬の時を終えて、草木が芽吹き始め、新しい成長の礎となる、とあります。今年も皆様のご期待にそえますよう、職員一丸となって精進してまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

理 念： 私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること
6. 他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること

医療費に関するご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

相談窓口

医療社会事業室
 TEL 083-901-6268(直通)

2月10日はフットケアの日

～足は第2の心臓、ひと足先のフットケアを～

2月10日は日本フットケア・足病医学会が制定したフットケアの日です。

今回はフットケアの日になんで、特に糖尿病や透析の患者さん、足の血流障害がある患者さんが、いつまでも自分の足で歩き続けるために必要なフットケアの話をさせて頂きます。

糖尿病の合併症の一つに神経障害があります。神経障害があると、足の感覚が鈍くなり、小さな傷に気付きにくくなります。その小さな傷は、糖尿病があると感染しやすく、潰瘍となり悪化しやすくなります。また、足に血流障害があると傷の部分が壊死してしまい、切断に至ることがあります。特に透析患者さんは、血流障害が起きやすいため注意が必要です。

では、その小さな傷はどのようなきっかけで出来るのでしょうか。原因は様々ですが、一番多いのが靴ずれによるものです。その他、低温やけど、胼胝(タコ)、鶏眼(ウオノメ)、爪周囲炎などが挙げられます。足の傷が悪化し、足切断に至ることがないようにするためには、日頃からの予防とケアが重要となります。

▼ ▼ ▼ 足病変予防に特に大切なことは、以下の通りです。 ▼ ▼ ▼

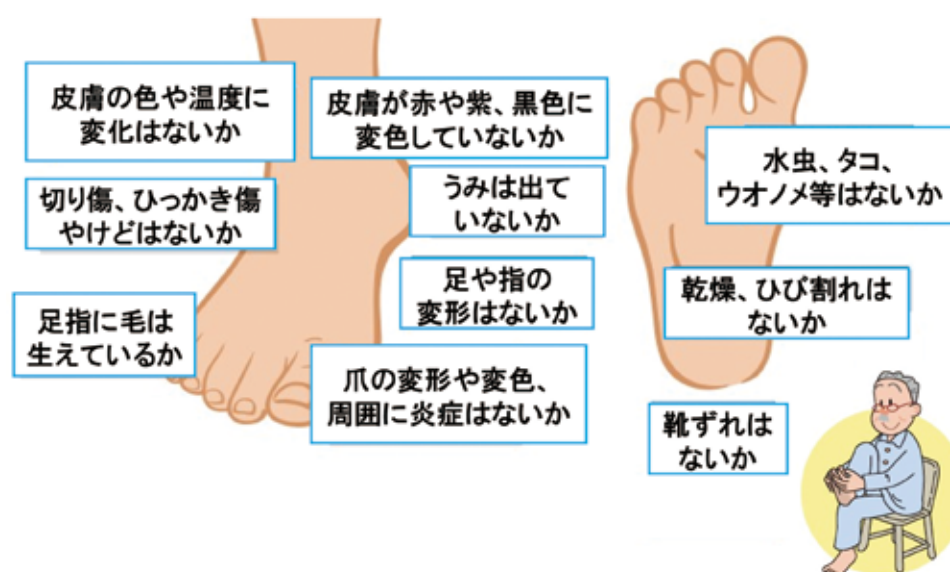
1. 毎日足の観察をする

足の裏や足の指間など隅々まで観察することで異常の早期発見ができます。

傷や発赤(赤くなる)や腫れ、色調不良(青紫や黒くなる)など異常があった場合は、早めに医療機関に相談しましょう。

また、傷ができた場合は、石鹸でよく洗い、シャワーで傷口をしっかりと洗いましょう。

タコやウオノメが出来た場合も、自分で処置せずに医療機関に相談しましょう。



2. 毎日足をきれいにする

指の間も隅々、石鹸を泡立てて優しく洗います。しっかりタオルで拭き取り、乾燥させます。その後、保湿剤を塗りましょう。一度ひび割れが起こると、なかなか治りません。日頃のスキンケアが大切です。

3. 適切な靴を選び、正しく靴を履く

自分の足に合った、靴ひもやマジックテープ式のスニーカーをお勧めします。

足の甲をしっかり固定することにより、靴の中で足が動くことを防ぎ、靴ずれ防止に繋がります。

適切な靴の選び方

足先に十分な高さがある

足にあったサイズ(足長)と足幅

生地は伸縮性に富んだものを

足の甲を圧迫しないひもやマジックテープのものを選ぶ

硬くしっかりとしたかかと部分

足先には1cm程度のゆとりを

蹴り出しで足を曲げやすい設計

かかとを包み込む十分な深さ



正しい靴の履き方

靴ひもは毎回結び直す

踵トントン

新しい靴を履いた時は変化に注意



同じ靴を毎日続けて履かない

履く前に靴を振り、小石や異物がないか確認

以上のことに気をつけながら、足病変を予防し、いつまでも自分の足で歩き続けることを目指しましょう。

当院では毎週月曜日に「フットケア外来」を開いています。足の異常や気になることがあれば、かかりつけ医にご相談下さい。